

自然と生き物の色々な話

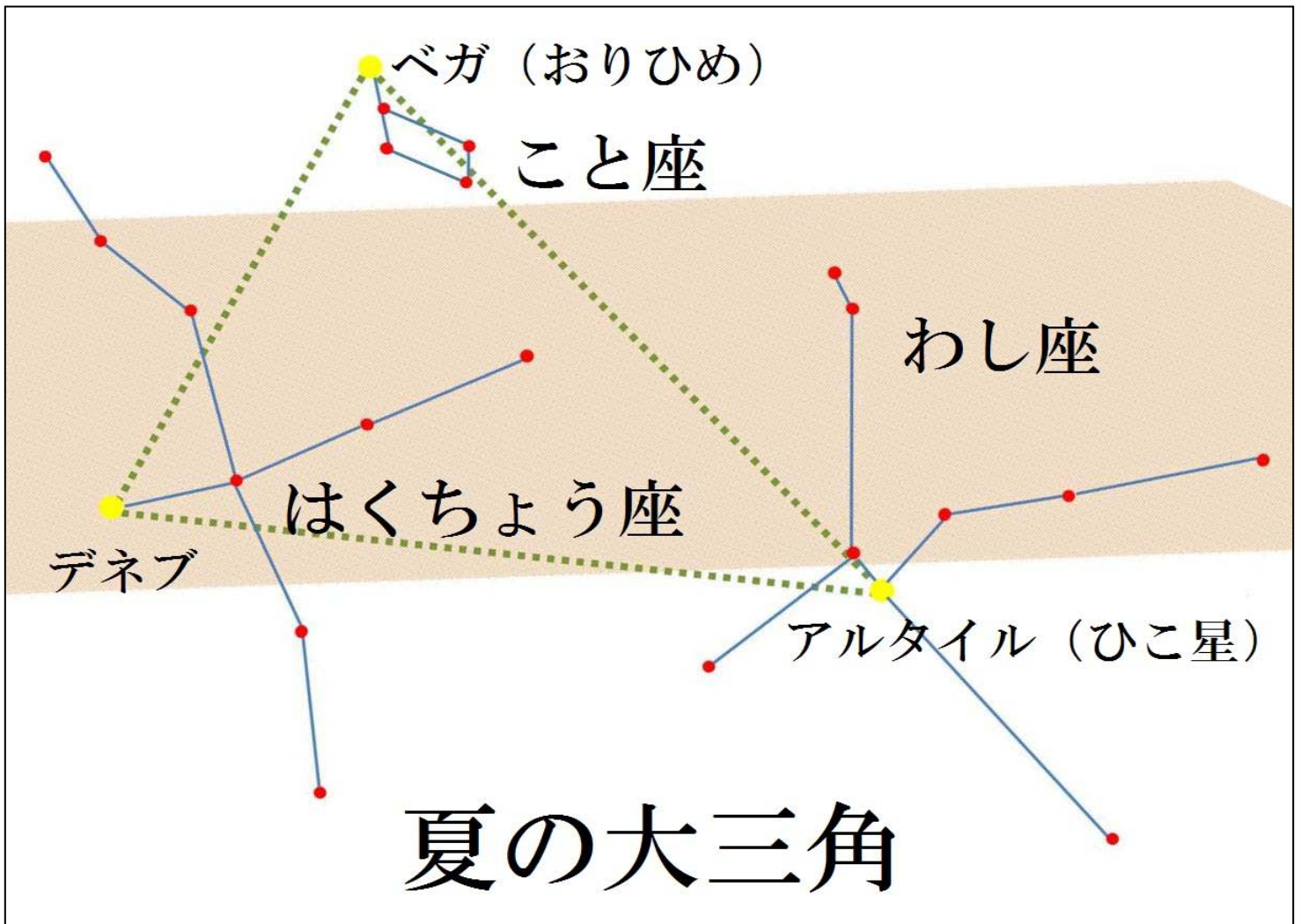
～星を見ること～

今回は自然学校が少し楽しくなる星の話をしてします。

夏の^{なつ}大三角^{だいさんかく}と天の川^{あまがわ}

東の空に天の川が流れ、天の川を挟んでベガ(おりひめ)とアルタイル(ひこぼし)があります。さらにデネブという大きな明るい星が天の川の中にある、この3つの星で夏の^{なつ}大三角^{だいさんかく}を作ります。

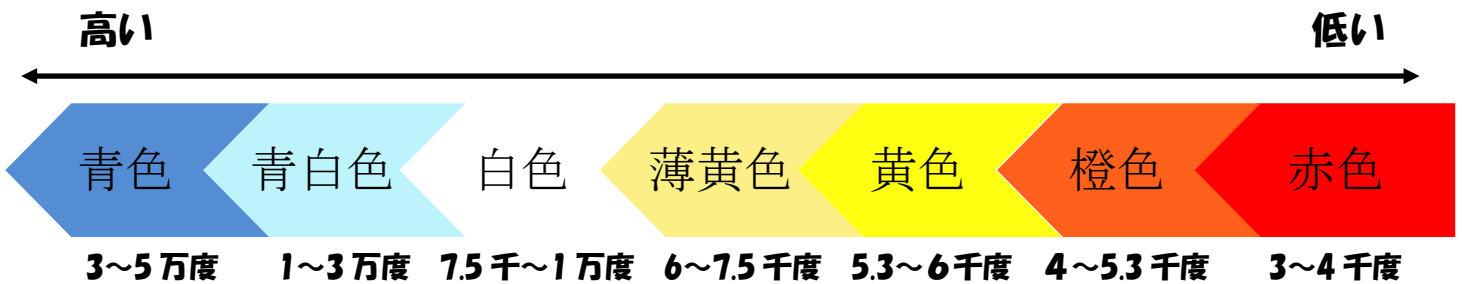
天の川の正体はたくさんの星が集まってできている^{ぎんが}銀河^{ぎんが}というものです。銀河とは太陽のような^{ひか}光^{ほし}る^{あつ}たくさんの^や星^{かたち}で^{ほし}できた^{あつ}、^やどら焼き^{よこ}のような^み形^{おお}の^{ほし}星^{いちど}の^み集まり^{ほし}のこと^{かわ}です。その^みどら焼き^{あま}を^{がわ}横^みから見ると^{あま}多くの^{がわ}星^みを一度に見ることができると^{あま}ため^{がわ}星^みが川のように見えます。これが天の川です。



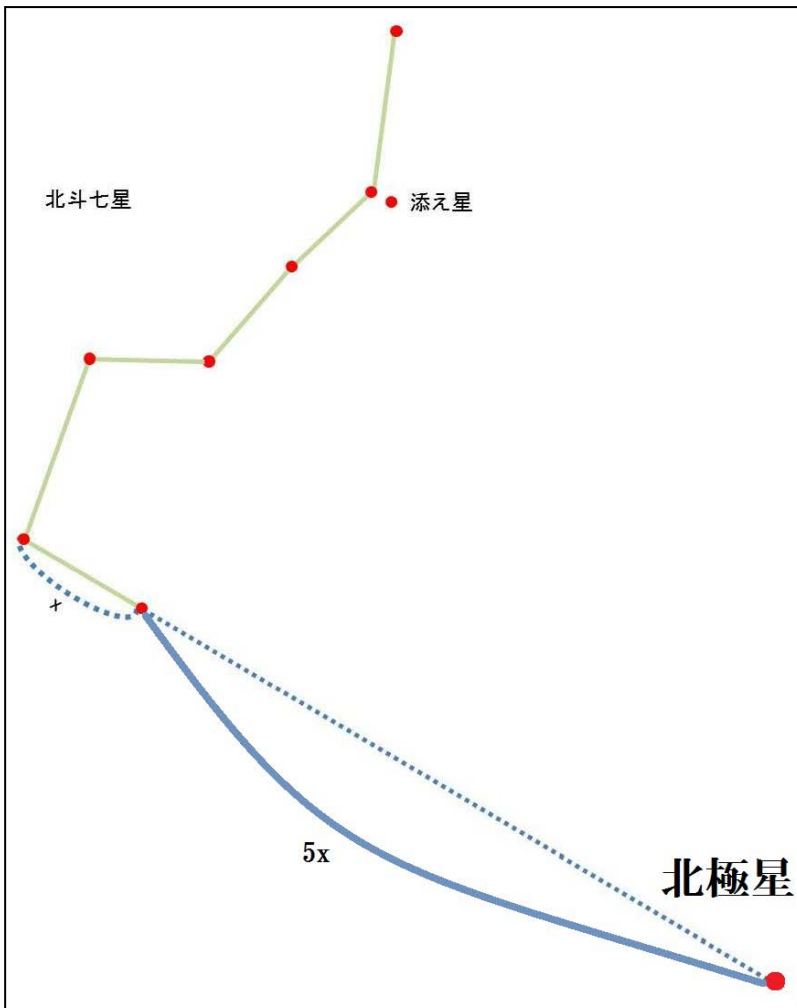
温度が1番高い星と1番低い星はどれ？

夜空の星の色はその星の表面の温度によって決まります。温度が高ければ青っぽく、低ければ赤っぽくなります。今日見える星の中から一番温度が高い星と低い星を探してみましょう。

ちなみに太陽の表面は6,000℃ぐらいで黄色のグループにはいります。あれだけ熱い太陽でも、宇宙全体から見たら低い方です。



北斗七星と北極星



おそらく、夜空で一番見つけやすい星座は北斗七星でしょう。ひしゃくやレンゲのような形をしています。

北斗七星のひしゃくの柄の部分には、星に寄り添うような星があります。これを添え星といいます。

昔はこの星を見ることで、視力検査をしていました。

またひしゃくの先端 (xの部分) の距離を点線にそって5倍ぐらい伸ばしたところにある星が北極星です。

星は夜空をぐるぐる回りますが、北極星だけは回らずいつも同じ位置にいます。

夜に船を動かしていた昔の船乗りや海賊は北極星を使って自分の方角を確かめていたのだそうです。

